

地域おこし協力隊通信 (No. 1) 本町第1号の松田憲政さんが着任

11月1日に、本年度導入した「地域おこし協力隊」第1号の松田憲政さんに、田淵川町長が辞令を交付しました。松田さんは、役場企画課に勤務し、種子島の情報発信や観光に関する業務に携わります。

活動状況を、役場企画課フェイスブックと本広報紙に掲載する予定です。

着任のあいさつ

皆さん、はじめまして、11月1日から「地域おこし協力隊」として着任しました松田憲政です。出身地は大阪府で、中種子町にあります新光糖業の本社がある城東区という所です。

中種子町としては第1号になる協力隊で、前例がなく不安もありますが、むしろ切り開いて行ける事にやり甲斐を感じています。前職は営業マンで技術があるわけでもなく、大阪出身だからといって漫才が出来る訳でもありません。



ただ、都市部で育った目線や感覚で、この種子島・中種子町に住み、今ある資源はもちろん、島の人たちにとつて当たり前前の日常、何気ない素敵を資源として活用していきたいように、掘り起こしていきたいと思います。

まずは、種子島という島を知り、中種子町という町を知り、ここに暮らす人々を知る事からはじめて行きたいと思っています。これから地域の人たちに受け入れられるよう、自分を知ってもらおう努力をしていきますので、何卒よろしくお願ひします。

県民・島民・町民の声を県政へ反映を あなたのそばで県議会

県民と県議会との意見交換会「あなたのそばで県議会」が11月6日に種子島こりーなであり、島内からの参加者約60人が、県議会議員28人と農業や教育、観光、輸送運賃などについて意見交換を行いました。

この意見交換会は、県議会と県民が直接、地域の諸問題等について意見交換を行うことにより、県民に身近で開かれた県議会となることを目的として開かれました。



知事と語ろう車座対話



知事と語ろう車座対話が10月23日に保健センターであり、中種子町と南種子町の代表者21人(区長・商工会・婦人会など)が三反園県知事と意見交換を行いました。

会では、農業や観光、子育て、輸送運賃などについて意見が出され、知事は県の考えや方向性について話し、意見交換を行いました。

また、車座対話の後には知事と町長、町議会議員が意見交換を行いました。